

(株)ダック技建

<http://www.duckgiken.co.jp>

創立 20 周年記念

【創立 20 年を振り返る】

平成 11 年 8 月に産声をあげた(株)ダック技建。徳永代表が率いる技術者集団として、業界後発ながら売上高ランキングでは当地区トップクラスの常連企業に躍進している。

徳永代表は「私と現役員 2 名の 3 人でスタートした会社です。ゼネコン、建材商社、銀行などの多くの方に支援してもらい今に至っています。感謝しかありませんね」と笑いながらこれまでの振り返った。当然ながら、発足当初は小規模な設備工事業者であったものの、長年の得意先である若築建設の他、地場ゼネコン、大手メーカー、官公庁などに受注先を拡大し、平成 20 年決算期には年商 10 億円を突破。一時、リーマン・ショックで辛酸を舐めたこともあったが、直ちに底力を発揮し、平成 25 年決算期に再度年商 10 億円に回帰した後、その後は躍進を続け、平成 30 年決算期ではついに年商 20 億円突破を達成した。定期的な勉強会による地道な「技術向上」「人材雇用・育成」がこれまでの成長の支えとなり、関係先からの信頼を培ってきたことは言うまでもない。「成長の原動力は一番に社員の努力。約 20 名の資格者が同社の強みとなっている。これまで支えてくれたスタッフ全員に対して本当に感謝しています」と徳永代表。



徳永 明彦代表

【金曜会と合同祝賀会を開催】

懸命な事業活動の傍らで、徳永代表が副会長を務める「金曜会」(菅 賢治会長)。「金曜会」は麻生 太郎副総理(財務・金融担当大臣)の後援会の名称で発足から 35 周年を迎えた。「金曜会」の周年記念に併せて、11 月 17 日に「(株)ダック技建創立 20 周年・金曜会 35 周年 記念祝賀会」を開催(会場・ステーションホテル小倉)。250 名を超えるダック技建の関係者が周年記念のお祝いに駆けつけた。

【来賓祝辞で大盛況の祝賀会】

開会のあいさつには顧問弁護士の北村 晴男弁護士が登壇。さまざまなテレビで活躍する北村弁護士は「ダック技建の顧問弁護士をしているが、これまで裁判もなく、友人としてのお付き合いをしてい



るような関係です。徳永代表から社員の愚痴を聞いた記憶はない。必ずよく働くと褒める。部下への感謝の気持ちがダック技建のエネルギーとなっている。25年、30年に向けて着実に歩むことを期待します」とあいさつ。主催者あいさつでは徳永代表が「私と現役員の佐々木、樋渡の3名でスタートしました。社名のダックとは危険を避けるという意味が込められています。皆さまに安心・安全を届け、お客さまから信頼してもらうことに専念し

てまいりました。何もないところからの発足でしたが、情熱だけは誰にも負けないように奮闘しました。当初から多くの方にお世話になり、大変感謝しております。弊社の社員は本当に一生懸命に働いてくれます。そして、技術力向上に対しても貪欲で、全社員が高いレベルに成長していると自負しております。そうした社員を大切に守っていきます。私自身は会社対会社というよりも、人対人に重きを置き、仲良くしていくことが大切だと



鏡開き

考えています。これからも皆さんと一緒にまい進していく所存ですので、今後も宜しく願いたします」と感謝を伝えた。その後、来賓あいさつでは麻生 太郎副総理が「過去、選挙戦で厳しい戦いを強いられていた時期があった。そういう時期から「金曜会」には応援してもらいお世話になっています」と感謝の言葉

に続けて、「日本のメンテナンス技術は素晴らしい。海外に対するメンテナンス力のアピールが不足している。なぜ、メンテナンスが素晴らしいのか？ それは将来にわたって必要不可欠であることに加え、人間関係を構築し、お互いの技術の信頼がないと長期にわたるメンテナンスは困難であるからだ。ダック技建は人間関係を非常に大切にしている会社です。これからもより一層の信頼を築いて歩いていくと期待している」と金融・財政担当としての言葉を交えてエールを送った。また、西川 京子九州国際大学学長は「ダック技建さんには麻生副総理の次に私がお世話になっているのではないのでしょうか？ 徳永代表は人脈が広い。多くの友達を作ってきた結果、仕事につながっている。仕事を追いかけてきたのではなく、人と人とのきずなを大事にしてきたことが今日に至っているのではないかと思います。今後の更なる成長に期待しています」と(株)ダック技建の強みを伝えた。スクリーンにて「(株)ダック技建の歴史」のムービーを流した後、鏡開きに来賓者と徳永代表、菅会長などが登壇。中村 明彦県議会議員の乾杯発声後、各テーブルでの歓談がスタートした。徳永代表の学友でシティオペラ会長の佐久間 伸一氏などがアカペラで合唱。大いに会場内が盛り上がる中、(株)ダック技建の手柴 恭一専務取締役が出席者への感謝を伝え、「(株)ダック技建創立 20 周年・金曜会 35 周年 記念祝賀会」は幕を閉じた。

【これからの(株)ダック技建】

「何かを変えるつもりはありません。



麻生 太郎副総理と徳永代表

これまで通り、社員を大切に育成し、多くの友達を作っていくだけです」と徳永代表。熊本地震の発生後には、北村 晴男弁護士とともに「熊本地震復興支援チャリティープロアマ大会」を開催した。これまでに築いてきた人脈によって、故郷である熊本の本格的な復興を願う徳永代表に賛同するメンバーは着実に増加し、本年 2 月 22 日には 3 回目となる熊本地震復興支援チャリティープロアマ大会」を開催する。

「人対人」のつながりを重んじ、地場トップに成長した(株)ダック技建の 5 年後、10 年後の更なる活躍が楽しみである。

【会社概要】

所在地：〒806-0067

北九州市八幡西区引野 2-5-6

TEL 093-645-3233

FAX 093-645-3232

代表者：徳永 明彦

設立：平成 11 年 8 月

創業：平成 11 年 8 月

資本金：2,500 万円

業 種：管工事